

令和3年度総合戦略事業評価シート(令和2年度事業)

【担当課: 商工観光課】

基本目標	2	「住みたい」「訪れたい」という魅力を創る			当初予算		44,155,000 円			
施策の基本的方向	4	観光資源の磨き上げ			執行済額		21,117,075 円			
事業名	8	観光まちづくり推進事業			執行交付金		10,499,000 円			
事業概要	観光まちづくりに取り組む組織を設立し、地域の多様な資源を生かした観光プロモーション、地域の貴重な資源である古民家の観光資源としての活用、公共施設の指定管理の受託などを実施し、町全体の観光マネジメントを行い、地域経済や観光まちづくりの活性化を推進する。									
事業の取組み (経費内訳)	・観光総合戦略策定業務委託料 2,717,000円 ・観光まちづくり会社補助金 878,000円 ・観光まちづくり業務委託料 1,299,800円 ・養老溪谷観光センターの魅力強化工事 2,740,404円 ・観光活性化基本計画策定業務委託料 4,477,000円 ・超小型モビリティ実証実験委託料 719,880円 ・粟又の滝ライトアップ整備工事 6,985,000円 ・大多喜城下町通り屋号案内看板設置工事 1,299,991円									
	重要業績評価指標			目標値	単位	H28	H29	H30	R1	R2
施策評価	①	観光入込客数の増	102.4万人	人		101.4万人	94.3万人	91.5万人	96.5万人	
			達成状況			→	↘	↘	↘	
施策評価	②									
			達成状況							
事業効果	② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。	① 本事業は地方創生に非常に効果的であった。	※ 指標が目標値を上回ったなどの場合							
		② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。	※ 目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成したなどの場合							
		③ 本事業は地方創生に効果があった。	※ 目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善した場合							
		④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった。	※ 実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合							
課題	整備された観光施設の効果的なプロモーション及び地域経済への波及効果を高めるための観光マネジメントの実施。									
事業実績・今後の予定	観光まちづくり会社大多喜DMOによる事業の推進、ソフト事業として町の観光総合戦略及び養老溪谷を活用した観光活性化基本計画の策定。ハード事業として、粟又の滝及び養老溪谷観光センターのライトアップ設備の整備、大多喜城下通りへの屋号看板、竹灯笼の整備、また、大多喜駅からの観光客の2次交通施策として超小型モビリティの実証実験を実施した。									

■事業の評価

事業の評価	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	② 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。
		コメント： 観光総合戦略、養老溪谷を活用した観光活性化基本計画の策定に伴い、明確な方向性が位置付けられ今後の施策の展開につながった。 また、養老溪谷のライトアップ整備、大多喜城下町通りの屋号看板、竹灯笼の整備等によりコロナ禍にあっても、観光客が多く来ており、SNSでの拡散などにより誘客につながっている。
		※1「有効であった」 ☐ 良かった点、評価する点等について記載してください。
		※2「有効とは言えなかった」 ☐ 良くなかった点、何が原因であったか等、改善策について記載してください。

▼推進会議の評価を受けての今後の方針

今後の方針	⑤ 当初予定通り事業を終了した。	① 事業が効果的であったことから取組みの追加等更に発展させる。 ② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。) ③ 特に見直しをせず事業を継続する。 ④ 継続的な事業実施を予定していたが中止した。 ⑤ 当初予定通り事業を終了した。
今後の方針の理由	観光まちづくり推進事業により策定した計画をもとに、今回の整備した設備の効果的なプロモーション及びその設備を活用した観光マネジメントを行い、地域経済及び観光まちづくりの活性化を推進する。	